

2024年3月26日

株式会社ダスキン

～ misdo meets 祇園辻利 ～

菅田将暉さん、又吉直樹さんが CM 初共演！

メイキングインタビューでは二人旅の思い出や最近起こった“濃い”出来事を伺いました！

3月27日（水）発売の『misdo meets 祇園辻利 第一弾』を紹介する
新 TVCM 祇園辻利 第一弾「お、濃い」篇を同日から放映開始

株式会社ダスキン（本社：大阪府吹田市、社長：大久保 裕行）が運営するミスタードーナツでは、宇治茶専門店「祇園辻利」と共同開発した『misdo meets 祇園辻利 第一弾』を3月27日（水）から発売します。それにともない、菅田将暉さん、又吉直樹さんが出演する新 TVCM 祇園辻利 第一弾「お、濃い」篇（15秒）を、同日より全国で放映開始します。



<ミスタードーナツ新 TVCM 祇園辻利 第一弾「お、濃い」篇より>

ミスタードーナツは2017年から、『いいことあるぞ ミスタードーナツ』のブランドスローガンのもと、お客様がミスタードーナツを通じて様々な企業や商品と出会い、「最高においしい商品・価値」や「ワクワクする気持ち」を提供する“misdo meets”を商品開発テーマとし、“最高水準の素材と技術”をもったブランドと共同開発した商品を展開しております。

今回の新 TVCM は“京都二人旅”という設定のもと、菅田さんと又吉さんが縁側に並んで腰掛けながら、新商品「お濃いドーナツ とろり抹茶クリーム」を味わうというストーリーです。食べる直前、なんでも『お』をつければ良いというものではない、とツッコんだ又吉さんですが、いざ食べてみると、その濃厚な味わいと断面の美しさに、菅田さんともども「おっ！」「おっ？」と驚きや感動の言葉を連発。最後は、二人揃って「お、濃い」と、納得の表情で思わずつぶやきます。このシーンを通じて、抹茶を練り込んだドーナツ生地に、濃い抹茶クリームを絞り、抹茶チョコをコーティングした「お濃いドーナツ とろり抹茶クリーム」など、5つの商品の魅力を訴求していきます。

■ 撮影エピソード

◇ 芥川賞受賞作を映画化した「火花」の主演俳優と原作者が CM 初共演

「お久しぶりです」（菅田さん）、「よろしくお願いします」（又吉さん）という再会の挨拶でスタートした今回の撮影。又吉さんの芥川賞受賞作「火花」が映画化された際に、菅田さんが主演を務めたというご縁のほか、ともに大阪出身で古着好きという共通項がある旧知の間柄だけに、収録は終始和気あいあいとしたムードで進みました。

◇ 京都二人旅の最中、驚くほど抹茶が濃いドーナツに仲良く舌鼓！

今回は宇治茶専門店「祇園辻利」と共同開発した新商品を紹介する CM ということで、監督から『京都二人旅という設定です』と説明を受けた菅田さんと又吉さん。スタジオにセットを組んだ趣のある一軒家の縁側に、仲良く並んで腰掛けた二人は、ファーストテイクから息ぴったりの掛け合いを披露し、現場を湧かせていました。中でも一番盛り上がったのが「お、濃い」と声を揃えてつぶやくシーン。完璧にシンクロした演技で、見事一発 OK を獲得すると、スタッフからも拍手が沸き起こり、菅田さんと又吉さんも満面の笑みを浮かべていました。

■ 菅田将暉さん、又吉直樹さんインタビュー

——又吉さんは普段“何系”のドーナツを食べることが多いですか？

また、今回の新商品の中で、お気に入りのドーナツをお二人それぞれお聞かせください。

【又吉さん】：全部おいしかったんですけど、「お濃いドーナツ とろり抹茶クリーム」は本当に濃厚で、おいしかったです。ふだんは、（オールドファッションなど）乾き気味のドーナツが好きですね。複数の種類をいろいろ食べるのも好きです。

【菅田さん】：乾き気味の、おいしいですね。僕は、今回の新商品の中では、「ポン・デ・宇治抹茶 カリカリあられ」が新しかったですね。この、カリカリのあられが乗っているというドーナツのシリーズとして、もっと他のバリエーションも食べてみたくなるほどおいしかったです。甘じょっぱくて、抹茶とお煎餅を全部一気に楽しめるような感じがめちゃくちゃおいしかったです。

【又吉さん】：食感もいいですね。

【菅田さん】：お煎餅が乗ってるドーナツを食べるのも初めてですが、（ミスタードーナツは）ものすごいペースで新作が出るんですよ。

【又吉さん】：そうですね、すごいですよね。

【菅田さん】：僕は毎回おいしく食べているだけなんですけどね（笑）。

——今回の CM は京都二人旅という設定ですが、これまで男二人旅の経験はありますか？

【菅田さん】：ありますね。仲野太賀という俳優と、よく行ってました。

【又吉さん】：僕もパンサー・向井と二人で大阪に一緒に行って、とかありましたね。

【菅田さん】：仲が良くても、二人で旅行に行ける友達と、都内等近場の方が合うとか、そうでない友達とありますよね。

【又吉さん】：ありますね。お互いが好きなように過ごせる人だと旅行はしやすいですよ。大阪旅行の時、向井はご飯を食べて夜 9 時ぐらいにはホテルへ戻って行きましたからね。

【菅田さん】：あははは。

【又吉さん】：「あれ!? 早いな」と思って。僕の想定では 2 軒目、3 軒目…みたいな感じがあったんですけど。マイペースな人だと、こっちもあんまり気を遣わなくていいというか。

【菅田さん】：そうですね。お互いに単独でも動ける人はいいですよね。

——CMで縁側に並んで、二人とも前を向いている姿が二人旅っぽいと感じました。

【又吉さん】：お店でも結構カウンターの席が好きで、ずっと目を合わせているよりも、そっちの方が話しやすい気がします。

【菅田さん】：CMで片方が勝手に喋って、片方が気にせず食べている感じも好きでした。二人旅はやっぱり、そういうことが自然とできる人の方が楽ですね。

——今回の「お濃いドーナツ」にちなんで、最近「これは濃いな！」と思った出来事は？

【又吉さん】：アメリカへ行った相方が、去年5年ぶりに帰ってきたんですよ。“すごい濃いヤツ”ということは、前から理解しているつもりだったんですけど、5年ぶりに会ったら、なんかもう思い出にホイップクリームが乗ってるぐらいの濃さというか。

【菅田さん】：あははは。

【又吉さん】：「あれ、こんな濃かったっけ？」と思って。密着系の番組に付いてもらった時、僕が演出の方に「綾部がせっかく帰ってくるので、綾部が7割、僕は3割でいいですよ」と言ったんですよ。そうしたら演出の方が、「やっぱりコンビですね！綾部さんは、俺が“8”で、又吉は“2”でいいと仰っていました」って。

【菅田さん】：濃いなあ。自分から“8”って言うなんて、すごいですね。

【又吉さん】：僕の周りに、綾部以外で綾部みたいなヤツ、いないんですよ。かなり濃厚です。

【菅田さん】：絶妙のバランスなんですね。僕の濃い経験は、又吉さんが新刊を出されると、いつも送っていただいていた、それを読ませていただいた後、本棚に置んですけど、又吉さんの本が5、6冊あって、そこだけ濃いですね。又吉さんコーナーがガツとある感じというか。最近本棚の整理をした時に、散らして置いた方がいいのか、同じ作者の本を固めた方がいいのか、ちょっと悩みました。

——二人ともおしゃれでファッション好きなイメージがありますが、お互いのファッションについてどう感じていますか？

【又吉さん】：菅田さんのファッション、すごく好きですね。面白いですし、古着も日本のブランドも、いろいろ着てらっしゃるイメージがあって、服の元々持っている個性、魅力みたいなものを、ちゃんと理解して生かそうとしている印象があります。

【菅田さん】：うれしいですね。古着好きな人はたくさんいますが、意外と表舞台で、普段から古着屋さんに通っていたり、仲の良い店員さんが居るようなお店があったり、自分で収集するぐらい好きな人ってあんまりいらっしゃらないので、そういう意味でも又吉さんはずっと気になる存在です。もはやコーディネートを含めて、それ自体がひとつの表現になっているというか。パジャマも作っていましたよね。

【又吉さん】：作りましたね。

【菅田さん】：古着を好きになって、生地や形に目がいくと、自分で作りたくなる場所も共感できるなと思います。

——今回の舞台設定となった「京都」での思い出をお聞かせください。

【又吉さん】：僕は大阪の寝屋川市出身で、京阪電車で京都まで30分ぐらいの場所だったので、高校生の時は大阪よりも京都に行くことの方が多くて、新京極とかでよく買い物していました。あとは、八坂神社にお参りして、そのまま円山公園を抜けて、散歩しながら知恩院の方へ行って、お参りして帰りたいなことを、毎週のようにやっていました。

【菅田さん】：えー、洪っ。一人ですか？

【又吉さん】：一人とか、当時お付き合いしていた人と、とか。高校生の時に御朱印帳を買って、それを持ってお寺や神社を回っていました。

【菅田さん】：素敵ですね。京都は歴史的な建物がいっぱいありますが、自然もすごく気持ちいいところがたくさんあるんですよ。京都にいとこの家があって、その近くの山へ毎年夏に行って、小さな滝がいっぱいあるところに飛び込むのが好きでした。

【又吉さん】：昔、京都の劇場の出番に「ピース」で二人揃って行った時、タクシーで僕が先に乗って、その後に綾部が乗ったんですけど、運転手さんが振り返って、綾部を見て「お一人で大丈夫ですか？」って言ったんですよ。僕も乗ってたのに気づかれてなくて。綾部が「居ますよ、もう一人」って答えて。乗る時に静かすぎたのかな？何やったんやろう、あれ。

【菅田さん】：こわっ！不思議！もしかしたら、綾部さんが濃すぎたのかもしれないですね（笑）。

■菅田将暉さんプロフィール

1993年2月21日生まれ、大阪府出身。

2009年「仮面ライダーW」で俳優デビュー。以降、ドラマ・映画・舞台・ラジオなど幅広く活躍中。

近年の主な出演作品は、ドラマ「コントが始まる」「ミステリと言う勿れ」「鎌倉殿の13人」、映画「百花」「銀河鉄道の父」「君たちはどう生きるか」（声優出演）「ミステリと言う勿れ」「笑いのカイブツ」など。

公開待機作に「Cloud クラウド」（2024年9月公開）、Netflix シリーズ「グラスハート」（2025年配信予定）がある。

2020年9月より、「ドを超える。」をテーマに展開したミスタードーナツ 50周年アンバサダーに就任。

■又吉直樹さんプロフィール

1980年6月2日生まれ、大阪府出身。

2003年に、NSC同期の綾部祐二氏とお笑いコンビ「ピース」を結成。芸人活動と並行して文筆活動も行い、2015年1月に、文芸誌「文學界」に小説「火花」を発表して小説家デビュー。同作品で、お笑い芸人として初の「芥川賞」を受賞し、大きな話題を呼んだ。同作品は2016年にドラマ化、2017年には映画化、2018年には「火花～Ghost of the Novelist～」のタイトルで舞台化されるなど、大ベストセラーとなっている。

近著に『人間』、『月と散文』などがある。

■新 TVCM 祇園辻利 第一弾「お、濃い」篇 概要

◇CMタイトル : 祇園辻利 第一弾「お、濃い」篇（15秒）

◇出演 : 菅田将暉、又吉直樹

◇放映開始日 : 2024年3月27日（水）

◇放映地域 : 全国（一部エリアを除く）

◇CM本編URL : <https://youtu.be/FSFaAyfmnLU>

■新 TVCM 祇園辻利 第一弾「お、濃い」篇 ストーリーボード **※二次使用はご遠慮ください。**



菅田さん V.I.)
ミスタードーナツ♪



又吉さん)
おっ？この断面！



又吉さん)
お濃い抹茶ドーナツ



菅田さん・又吉さん)
お、濃い…



なんでも
「お」つけりゃ
いってもんじゃな
いよな…



菅田さん)
おっ！濃い！



NA)
ミスドミーツ
祇園辻利



菅田さん OFF)
ネットオーダーでも

■商品情報

※価格は、テイクアウト価格・イートイン価格の2 価格を表記しています。

※価格は税込です。

お濃いドーナツ とろり抹茶クリーム

テイクアウト	248 円
イートイン	253 円



祇園辻利の宇治抹茶をミスタードーナツ史上、最も多く練り込んだ、しっとり食感の宇治抹茶生地になめらかな濃い抹茶クリームを絞り、抹茶チョコをコーティング。抹茶のおいしさを存分に楽しめる抹茶づくしの一品です。

お濃いドーナツ ふわり抹茶ホイップ

テイクアウト	248 円
イートイン	253 円



祇園辻利の宇治抹茶をミスタードーナツ史上、最も多く練り込んだしっとり食感の宇治抹茶生地、あずきあんとなめらかな口溶けの濃い抹茶ホイップをサンド。食感のアクセントにマロングラッセをトッピングした抹茶素材との相性を楽しめる一品です。

ポン・デ・ダブル宇治抹茶

テイクアウト	205 円
イートイン	209 円



祇園辻利の宇治抹茶を練り込んだ新ポン・デ・抹茶生地、抹茶チョコをコーティング。生地とチョコ、ダブルで抹茶の味わいに仕上げました。

ポン・デ・宇治抹茶 かりかりあられ

テイクアウト	216 円
イートイン	220 円



祇園辻利の宇治抹茶を練り込んだ新ポン・デ・抹茶生地、抹茶チョコをコーティングし、かりかりあられで食感と味わいのアクセントを加え、香ばしく仕上げました。

ポン・デ・宇治抹茶 和三盆わらびもち

テイクアウト	226 円
イートイン	231 円



祇園辻利の宇治抹茶を練り込んだ新ポン・デ・抹茶生地にとろり食感の和三盆わらびもちと濃い抹茶ホイップをサンド。それぞれの和素材の相性が良い一品に仕上げました。

【本件に関するお客様からのお問い合わせ先】

ミスタードーナツお客さまセンター TEL : 0120-112-020

ホームページ www.misterdonut.jp